

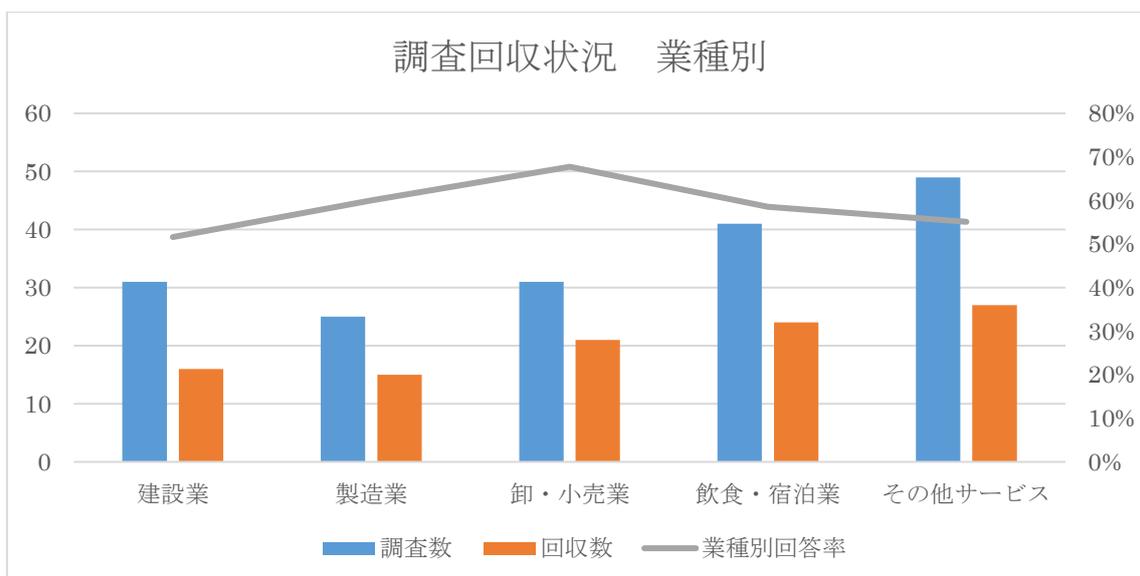
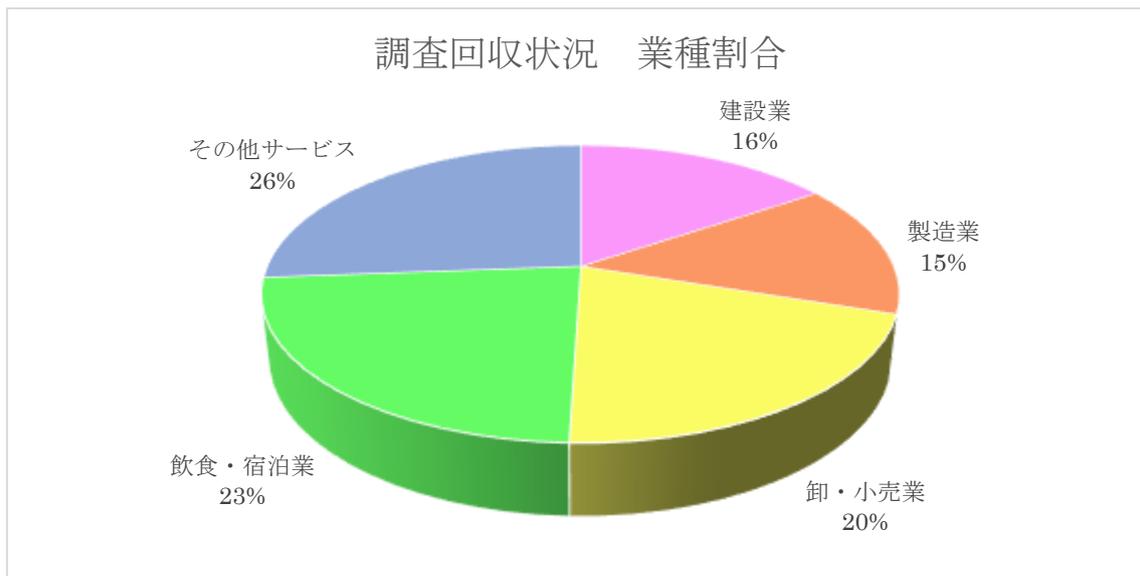
千歳市景気動向調査結果

調査期間：2022年7月～9月の実績と10月～12月の見通しについて調査。

調査方法：調査票を送付し、FAXまたはWEBにて回収。

調査企業：千歳商工会議所（特別会員を除く）会員企業のうち177社に依頼。

回収状況：103社（58%）



DI（景気動向指数：ディフュージョン・インデックス）とは

増加・上昇・好転の企業割合から減少・降下・悪化の企業割合を差し引いた値のことです。

この数字がプラスかマイナスか、また、その大きさにより景気の動きを時期的な推移の中で把握します。

景気が「良い」の中には、「良いけど悪くなりつつある」などの考えも含まれるため、**業況判断DIは、景気の方向性ではなく、景気の水準を表すもの**です。

数値が上昇していれば、良い景況感（景気が良いと感じる企業の割合が増えたこと）を意味します。

本調査では前期（2022年4～6月）と比較した今期（2022年7～9月）の実績及び、今期（2022年7～9月）と比較した来期（2022年10～12月）の予測を掲載しています。

《 全体の景気動向 》

【主要DI調査】

主要DI	今期（7～9月）		来期（10～12月）
業況	▲1.8	↓	▲16.2
売上	5.4	→	4.5
採算	▲17.1	→	▲20.7
原材料（仕入高）	▲91.7	↑	▲85.4
資金繰り	▲11.7	↓	▲18.0
労働時間	1.8	→	6.3
雇用状況	28.8	→	27.9

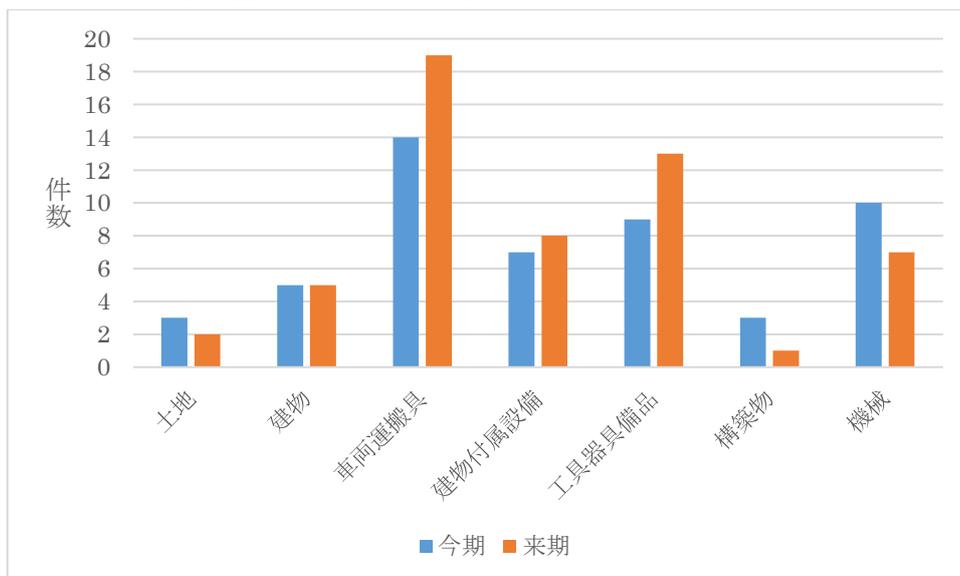
表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

【設備投資調査】

今期（7～9月）設備投資をした企業は30.1%

来期（10～12月）設備投資を計画している企業は34.0%

設備投資をした（する）企業のうち投資内容は以下の通り。



《 製造業の景気動向 》

【主要DI調査】

主要DI	今期（7～9月）		来期（10～12月）
業況	0.0	↓	▲26.7
売上	▲6.7	↑	0.0
採算	▲26.7	→	▲26.7
原材料（仕入高）	▲93.3	↑	▲86.7
資金繰り	▲13.3	→	▲13.3
労働時間	0.0	→	0.0
雇用状況	26.7	→	26.7

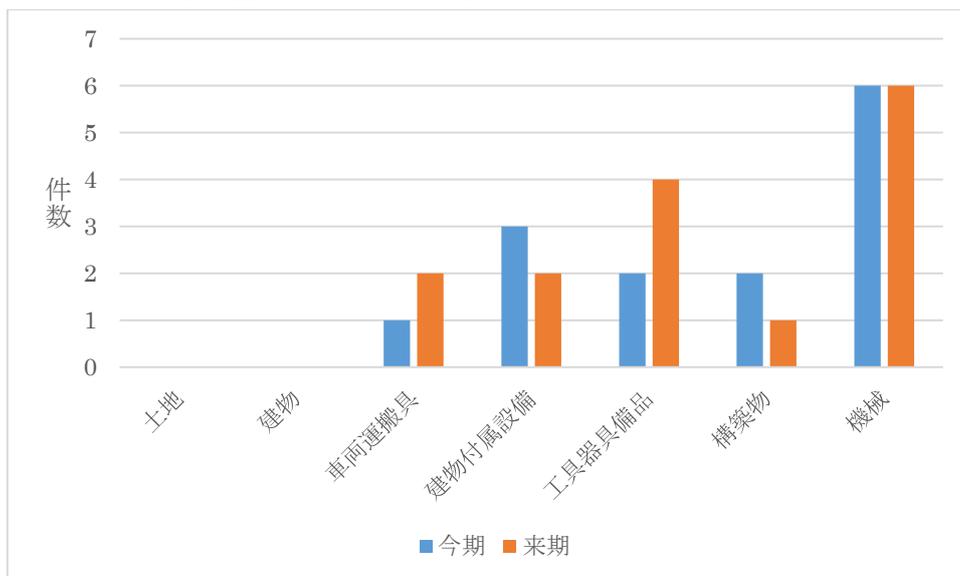
表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

【設備投資調査】

今期（7～9月）設備投資をした企業は46.7%

来期（10～12月）設備投資を計画している企業は53.3%

設備投資をした（する）企業のうち投資内容は以下の通り。



《 建設業の景気動向 》

【主要DI調査】

主要DI	今期（7～9月）		来期（10～12月）
業況	▲10.5	↓	▲15.8
売上	▲5.3	↑	10.5
採算	▲15.8	↓	▲36.8
原材料（仕入高）	▲89.5	→	▲89.5
資金繰り	▲21.1	↑	▲10.5
労働時間	0.0	↑	10.5
雇用状況	42.1	↓	31.6

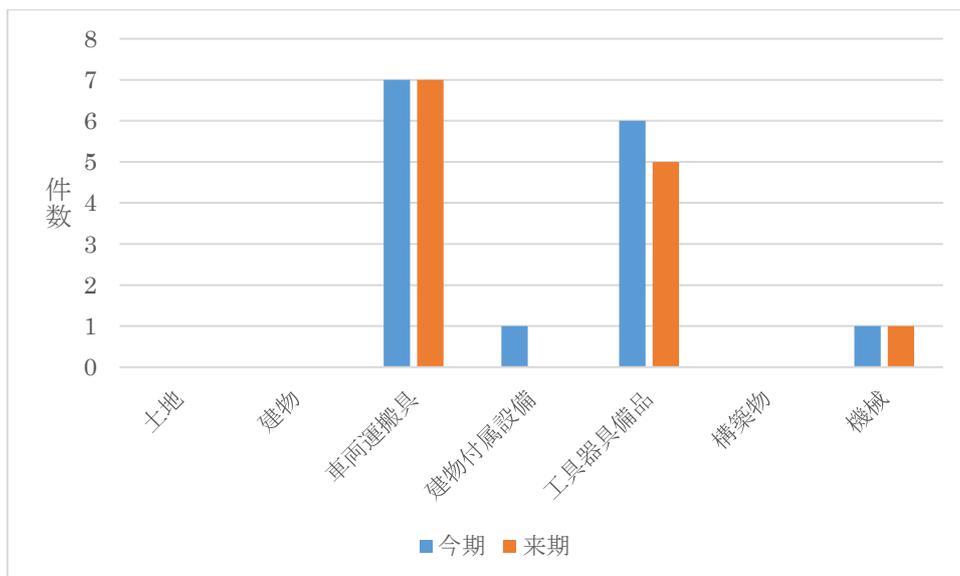
表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

【設備投資調査】

今期（7～9月）設備投資をした企業は50.0%

来期（10～12月）設備投資を計画している企業は43.8%

設備投資をした（する）企業のうち投資内容は以下の通り。



《 卸・小売業の景気動向 》

【主要DI調査】

主要DI	今期（7～9月）		来期（10～12月）
業況	0.0	↓	▲22.7
売上	▲9.1	↑	0.0
採算	▲27.3	→	▲31.8
原材料（仕入高）	▲78.9	→	▲78.9
資金繰り	0.0	↓	▲9.1
労働時間	▲13.6	↑	0.0
雇用状況	13.6	→	13.6

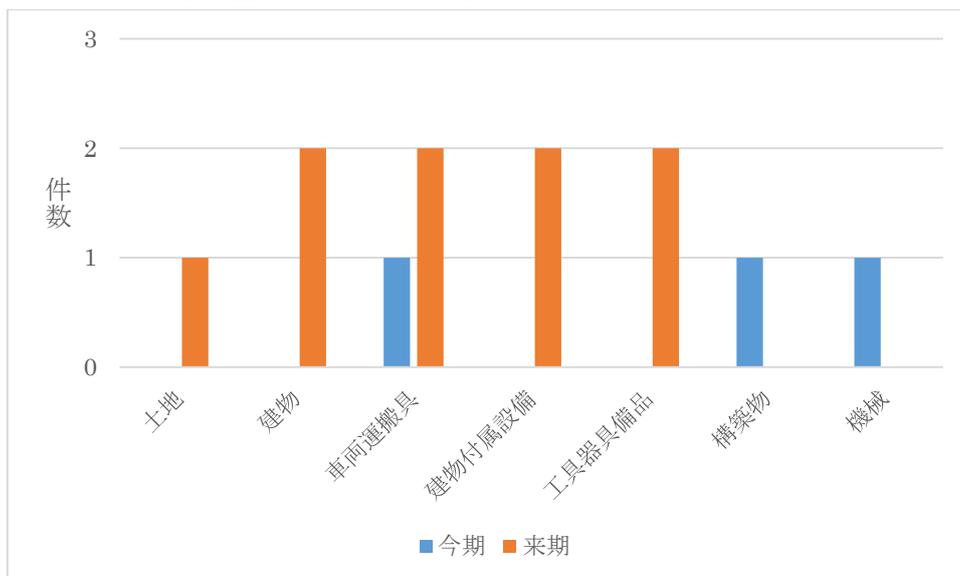
表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

【設備投資調査】

今期（7～9月）設備投資をした企業は14.3%

来期（10～12月）設備投資を計画している企業は33.3%

設備投資をした（する）企業のうち投資内容は以下の通り。



《 飲食・宿泊業の景気動向 》

【主要DI調査】

主要DI	今期（7～9月）		来期（10～12月）
業況	▲4.3	↓	▲21.7
売上	8.7	↓	▲21.7
採算	▲17.4	→	▲13.0
原材料（仕入高）	▲100.0	↑	▲77.3
資金繰り	▲8.7	↓	▲30.4
労働時間	13.0	↓	▲4.3
雇用状況	17.4	→	17.4

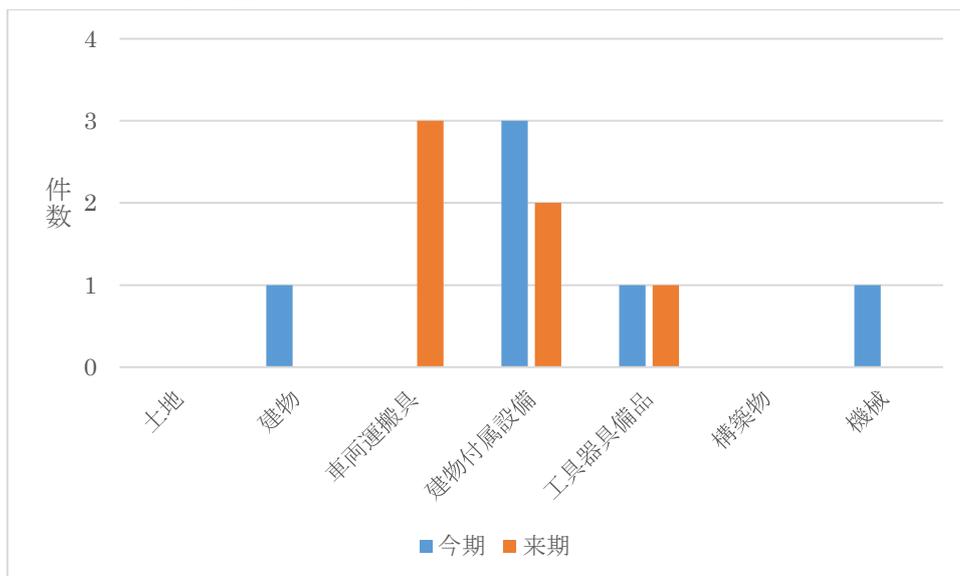
表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

【設備投資調査】

今期（7～9月）設備投資をした企業は25.0%

来期（10～12月）設備投資を計画している企業は29.1%

設備投資をした（する）企業のうち投資内容は以下の通り。



《 その他サービス業の景気動向 》

運送・生活関連サービス・観光関連サービス・理美容・不動産・その他が含まれます

【主要DI調査】

主要DI	今期（7～9月）		来期（10～12月）
業況	3.1	↓	▲3.1
売上	25.0	→	25.0
採算	▲6.3	→	▲6.3
原材料（仕入高）	▲95.2	→	▲95.2
資金繰り	▲15.6	↓	▲21.9
労働時間	6.3	↑	18.8
雇用状況	40.6	→	43.8

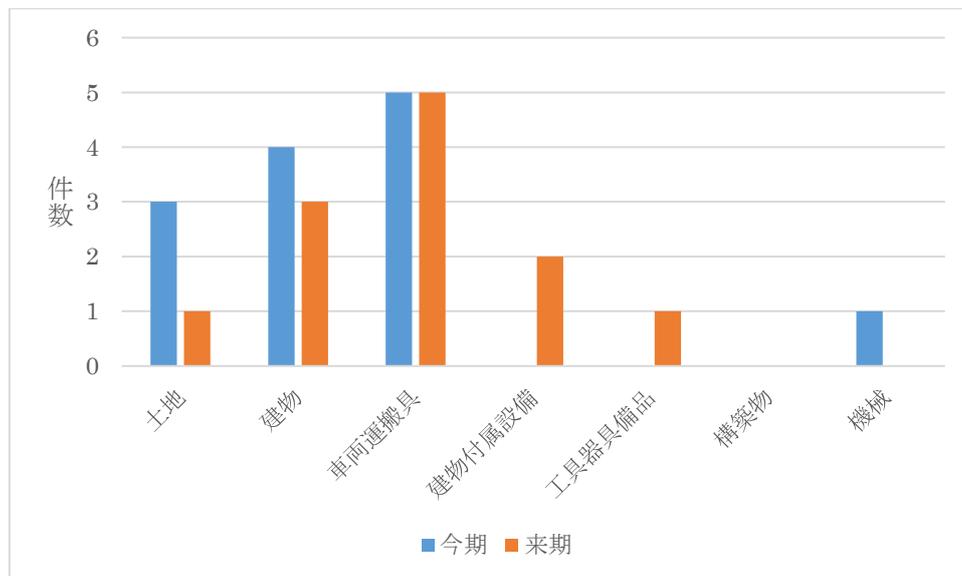
表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

【設備投資調査】

今期（7～9月）設備投資をした企業は25.9%

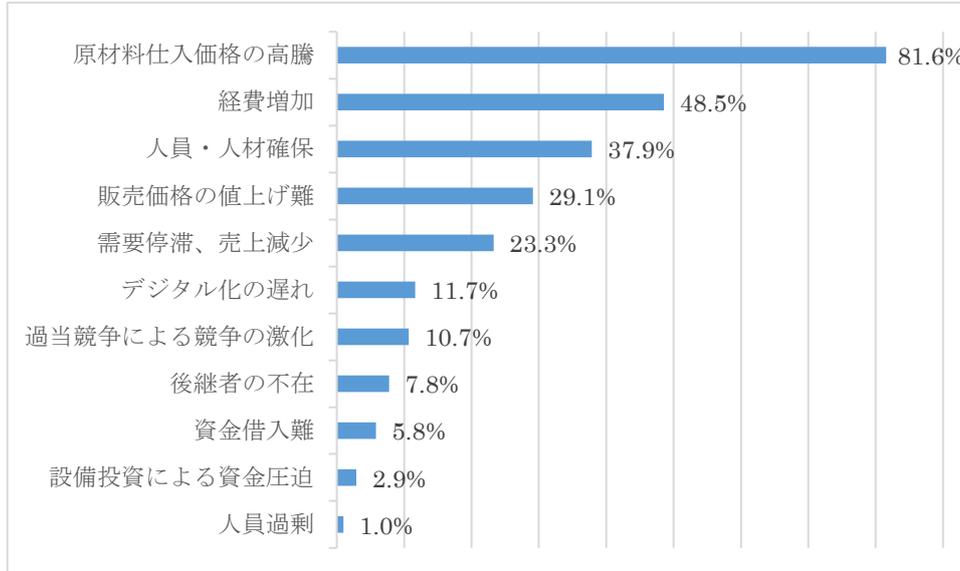
来期（10～12月）設備投資を計画している企業は22.2%

設備投資をした（する）企業のうち投資内容は以下の通り。



《 全体の経営上の問題点 》

現在、経営上直面している問題点で、圧倒的に多かったのは、『原材料仕入価格の高騰（81.6%）』で、多くの企業が抱えている問題点でした。次に『経費増加（48.5%）』『人員・人材確保（37.9%）』が多い結果となりました。



《 業種別の経営上の問題点 》

	製造業	建設業	卸・小売業	飲食・宿泊業	サービス業
1位	原材料仕入価格の高騰	原材料仕入価格の高騰	原材料仕入価格の高騰	原材料仕入価格の高騰	原材料仕入価格の高騰
2位	経費増加	人員・人材確保	経費増加	経費増加	経費増加
3位	人員・人材確保	経費増加	販売価格の値上げ難	需要停滞、売上減少	販売価格の値上げ難

《 観光関連の景況 》

観光に直接的に関わる業種及び企業を抜粋し調査しました。

対象事業者

市内の宿泊業、市内の観光関連業、市内の運送業、清水町・幸町周辺の飲食業、
新千歳空港及び周辺の観光関連事業者、支笏湖・モーラップ地区の事業者

景気動向

主要DI	今期（7～9月）		来期（10～12月）
業況	0.0	↓	▲11.1
売上	11.1	↓	▲11.1
採算	▲14.8	↑	▲3.7
原材料（仕入高）	▲74.1	↑	▲63.0
資金繰り	▲11.1	↓	▲29.6
労働時間	14.8	↓	0.0
雇用状況	▲18.5	→	▲22.2

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

《 企業の声 》

コロナ禍で減少した売上も、全体的に横ばいまたは上昇との回答が多く見られました。しかし飲食業については、未だ客足が戻らず、売上確保は今後も大きな課題であります。

ロシアによるウクライナ侵攻をめぐる国際情勢により様々な悪影響が及び、コロナ禍で疲弊している企業には大きな打撃となっています。特にエネルギー価格や物価の高騰、円安などの影響を大きく受け、今後の消費低迷を予測しているとの回答が多くありました。

販売価格の見直しをしても度重なる原材料高騰による値上げにより、利益に転嫁しきれていないという意見は非常に多く寄せられました。

ロシアとの輸出入等の禁止措置により資材の供給遅れ等直接的な影響も及ぼしています。

2022年9月7日より、北海道でも新型コロナウイルス感染者の自宅療養期間・濃厚接触者の待機期間が見直されました。しかし、会社内にて感染者や濃厚接触者が出た場合に、事業停止、生産の遅れなど、経営への影響は未だにあるとの回答も寄せられました。

また、人手不足が続く中、2022年10月より最低賃金が引き上げられ、これにより扶養範囲内で働きたい人の勤務時間が短くなった事で、さらに人手不足が深刻化しているという回答や、毎年最低賃金が引き上げられ、経営が圧迫されてしまう。求人に応募がない状況が続く、雇用単価を上げざるを得ない。という回答も寄せられました。

2022年10月11日から、コロナの水際対策が大幅に緩和され、入国制限はコロナ前にはほぼ戻ります。今後は、外国人観光客の増加が見込まれ、旅行需要にプラスイメージの意見も寄せられています。

本調査にご協力いただきました企業の皆様、ありがとうございました。

次回調査は令和5年1月頃です。引き続きご協力の程よろしく願いいたします。